

ちよっと
ひといき...

茶ぐわくゆんたく

155



野嵩と普天間をつなぐ抜け道―野嵩道路

現在の普天間、グリーンベル通りの向かい側、銀行から野嵩一区へ通ずる道は、「野嵩道路」とよばれる通りで、以前は上原方面から野嵩を経て、普天間の商店街への近道として利用されてきました。

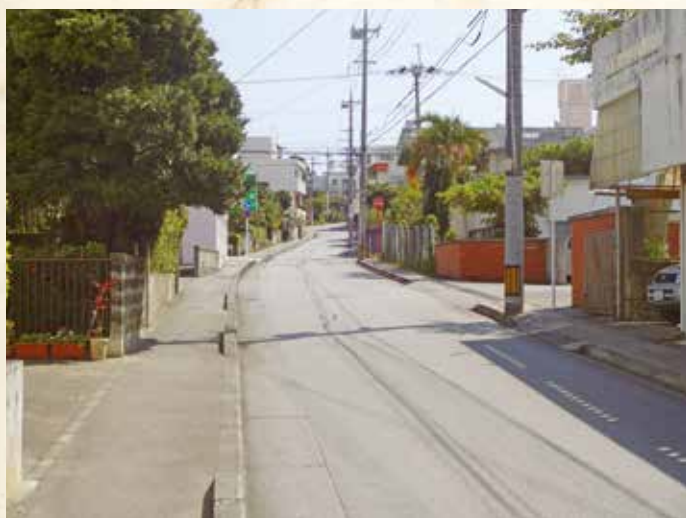
左上の写真は、1958（昭和33）年頃の野嵩道路です。普天間中央通りに近い通りには食堂や美容室、材木店があり、通りの中間には県中部土木事務所や医院、野嵩側に近づくにつれ

て住宅街が建ち、通りを抜けると野嵩の「白い城」がありました。また戦前、この通りには野嵩、普天間、新城の三か字共同で設立した普野城製糖工場があり、戦後50年代半ばまで工場の煙突も残っていました。

左下の写真は、現在の様子です。県土木事務所や医院は今も残り、通りを通過する車の量は以前と異なりますが、商店街への抜け道としての役割は今もそのままのようです。



▲野嵩道路 1958（昭和33）年頃
現在の銀行側から野嵩方面をみた写真で、材木店の看板や土木事務所の入口、写真上側には白い建物がみえます。



▲現在の野嵩道路 2017（平成29）年

はくぶつかんの部屋 ③7

楽しみながら「見て！ふれて！動かして！」学ぶ
4月22日 常設展示室・リニューアルオープン

いよいよ、市立博物館の常設展示室がリニューアルオープンします。開館17年、本市に関する新たな歴史情報や発掘調査の成果資料も増えました。最新情報を市民の皆さまに公開し、本市の素晴らしさと先人の知恵と工夫を実感してほしいものです。

さて、展示室では7つのコーナーに分けて宜野湾の歴史を紹介しており、各コーナーの展示資料も充実しています。特に大山貝塚で発掘され、沖縄の年代指標である大山式土器（三、五〇〇年前）も沖縄県立博物館の協力を受けて、実物を展示します。また、これまでの『宜野湾市史』の成果を基に、自然や戦後史のコーナーを新たに設けました。自然では本市の大地を形成する琉球石灰岩の特徴である洞くつや湧き水について紹介し、戦後史では、廃材を活かして作り出した生活道具や復興について紹介しています。この他にも察度の映像シアターや、これまでのアニメーション解説もタブレットでご覧いただけます。新たな宜野湾発見！にどうぞお越しください。



▲新しくなった常設展示室